

白鳥庫吉 しらとりくら吉 東洋史學者、文學博士。(元治二年一月四日上總國生まれ、昭和十七年二月二十一日没(二公五十一九四一)。本名倉吉。明治十九年帝國大學史學科卒。學務院教授、東京帝大教授歴任。四十年東洋協會學術調査部を設け、四十四年『東洋學報』發刊。大正十二年東洋文庫創設(研究部長)、その満鐵(南滿洲鐵道株式會社)調査部主任を務めた。『白鳥庫吉全集』全十卷(昭和四十四年十一月八日―四十六年十一月八日岩波書店)刊。

著書『叡山講演集』(合著・小池信美編、明治四十年十一月十日大阪・大阪朝日新聞社)、『國體讀本』(合著・松宮春一郎編著、昭和四年六月五日世界文庫刊行會)、『佛敎講話』(合著・佛誕二千五百年記念學會編、昭和十年五月二十日改造社)、『復期日本文化講座講演集』(合著、昭和十四年六月二十日國際學友會)、『西域史研究―白鳥博士と東洋史論集』全二冊(上・昭和十六年九月二十日、下・十九年四月五日岩波書店)、『日本語の系統―特に數詞の就く』(昭和十五年六月十日岩波書店)、『神代史の新研究』(昭和二十九年七月五日岩波書店)等。

